

埼玉学園大学・川口短期大学 機関リポジトリ

埼玉学園大学 人間学部 専任教員 研究・教育活動報告（令和5年1月～12月）

メタデータ	言語: ja 出版者: 公開日: 2024-03-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://saigaku.repo.nii.ac.jp/records/2000078

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License.



埼玉学園大学 人間学部 専任教員 研究・教育活動 (令和5年1月～12月)

人間文化学科

伊藤 栄晃 教授

【著書】

1. (単著)『共同体エンジニアリング—19世紀ケンブリッジ州ウィリಂಗム教区の経済と社会—』, 学術研究出版, 2月

牛田 あや美 教授

【論文等】

1. (単著) 論文概要「The process of modern education system to occupation as seen in Kim Yong-hwan “Global Comics and Webtoon:Trends and Prospects”」, 韓国漫画webtoon学会, 10月
2. (単著) 研究ノート「資料からみる二度の来日時期—戦前の美術教育と金龍煥—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第23号, 12月

【学会、研究報告】

1. 「作家は物語の主人公となり得るか—マンガ家・金龍煥の「コチュブ」を巡って—」, 文明哲学研究所, 京都芸術大学, 3月
2. 「The process of modern education system to occupation as seen in Kim Yong-hwan, COWEKO2023 Autumn International Conference」, 韓国漫画webtoon学会, 別府大学, 10月

【その他】

1. 「ロシア帝国皇太子ニコライの日本における足跡の研究—クストカメラ所蔵ニコライ二世日本コレクションを通して—ニコライ二世の足跡調査と報告会」, 京都 遊子庵, 7月

柴田 勝二 教授

【論文等】

1. (単著) 論文「弱者と強者の間で—二つの『ドライブ・マイ・カー』をめぐる—」, 『総合文化研究』第26号, 東京外国語大学, 1月
2. (単著) 書評「山根由美恵著『村上春樹〈物語〉の行方』(ひつじ書房,2022年)」, 『昭和文学研究』第86集, 昭和文学会, 3月
3. (単著) 論文「引き継がれる靈魂—『椿説弓張月』論—」, 『樹間爽風』第2号, 東京外国語大学, 3月
4. (単著) 論文「〈芸術家論〉としてのドラマ『卒塔婆小町』『綾の鼓』と作者の覚悟—」, 『叙説』Ⅲ—21, 叙説舎, 10月
5. (単著) 論文「魅せられる者たちの交わり—『黒蜥蜴』論—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第23号, 12月

【その他】

1. 講演「村上春樹とメディア」(川口市市民大学), 新郷公民館, 6月
2. 講演「変容する壁の内外—『街とその不確かな壁』をめぐる—」, 東京外国語大学, 11月

西山 智則 教授

【論文等】

1. (単著) 論文「『ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ハリウッド／ザ・ウエスト』論—クエンティン・タランティーノとセルジオ・レオーネのおとぎ話 (1)」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第23号, 12月

【その他】

1. 新刊紹介「三添篤郎『冷戦アメリカの誕生—協働する文化と研究—』(小鳥遊書房, 2021年)」、『アメリカ学会会報』No.212, 7月

高山 林太郎 准教授

【論文等】

1. (単著) 論文「高知県伊豆田神社付近の方言の複合動詞アクセント」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第23号, 12月
2. (単著) 資料紹介「高知県伊豆田神社付近の方言の複合動詞アクセント資料」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第23号, 12月

穴井 潤 専任講師

【論文等】

1. (他共著) 論文「『言葉集』注釈(四)」, 『福岡女学院大学紀要』人文学部篇第33号, 福岡女学院大学, 3月
2. (他共著) 論文「『言葉集』注釈(五)」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第23号, 12月

【その他】

1. 波頭(コラム)「関根慶子「中古私家集論序説」を読む」, 『平安朝文学研究』復刊31号, 平安朝文学研究会, 3月

伊藤 慎悟 専任講師

【論文等】

1. (共著) 伊藤慎悟・橋本都子, 論文「かけ算九九を自発的に学ぶための環境整備」, 『個性化教育研究』vol.14, 日本個性化教育学会, 3月
2. (他共著) 論文「コロナ禍における大都市在住若年成人のメンタルヘルスに及ぼす心理社会的影響—ソーシャル・キャピタルに着目して—」, 『ストレス科学研究』早期公開, 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター, 9月

【学会、研究報告】

1. 伊藤慎悟他, 「男性高齢者の参加を目指したボードゲーム交流会の現状と課題」, 日本コミュニティ心理学会, 香川大学, 12月

【その他】

1. 神奈川県相模原市立富士見小学校校内研究会講師, 神奈川県相模原市立富士見小学校, 9月

井上 正望 専任講師

【著書】

1. (部分単著) Ⅲ部6「古代・中世移行期の天皇と境界の祭祀—四角四界祭を題材に—」, 佐々木虔一

他編『古代の交通と神々の景観—港・坂・道—』, 八木書店, 5月

2. (部分単著)「天皇の二面性とその分化明確化過程」, 有富純也・佐藤雄基編『撰関・院政期研究を読みなおす』, 思文閣出版, 11月

【論文等】

1. (単著)史料・文献紹介「細井浩志編『新陰陽道叢書』第1巻 古代」, 『歴史学研究』第1036号, 歴史学研究会, 6月

松嶋 哲哉 専任講師

【著書】

1. (部分単著)第2章「道德教育の歴史—1. 明治期から敗戦まで—」, 下司晶編著『道德教育』, 学文社, 3月

【論文等】

1. (単著)論文「[生徒指導提要]改訂議論における「積極的な生徒指導」」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第23号, 12月

【その他】

1. コラム「速記と歴史学の共同作業」, 『日本の速記』第1000号, 日本速記協会, 9月
2. コラム(経世済民)「教員の「定額働かせ放題」」, 『埼玉新聞』10月19日

心理学科

安崎 文子 教授

【論文等】

1. (単著)論文「脳活動に基づく成人発達性吃音の分類—近赤外線分光法の結果から—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第23号, 12月

【学会、研究報告】

1. Anzaki, F. & Kiryu, S., “Neuropsychological Intervention for Developmental Stuttering using Delayed Auditory Feedback Application”, The International Neuropsychological Society 2023, San Diego, 2月
2. Anzaki, F. & Kiryu, S., et al., “Syllable Discrimination of People with Developmental Stuttering Using P300 of Event-related Potential Components”, The International Neuropsychological Society, 2023 Taiwan Meeting, Taipei, 7月

【その他】

1. コラム(経世済民)「発達障害者の増加について」, 『埼玉新聞』8月10日
2. 埼玉学園大学公開講座「心と身体の健康をめざして—認知症とその予防—」, 埼玉学園大学, 10月

大川 一郎 教授

【著書】

1. (部分単著)「高齢者の社会的支援」, 金沢吉展・沢宮容子編『臨床心理学と心の健康』(シリーズ現代の心理学5), 東京大学出版会, 3月

【論文等】

1. (他共著)「認知症高齢者の介護抵抗と徘徊への対応に関する実証的検討—ステップ式仮説検証型事

例検討による実践報告―」(査読付),『高齢者のケアと行動科学』第28巻,日本老年行動科学会,12月

2. (単著)「日本老年行動科学会のこれまで」,『高齢者のケアと行動科学』第28巻,日本老年行動科学会,12月
3. (他共著)「日本老年行動科学会のこれから」,『高齢者のケアと行動科学』第28巻,日本老年行動科学会,12月

【その他】

1. 大川一郎・中村淳子,モンゴル国立教育大学・名古屋大学交流10周年記念学術会議 基調講演「田中ビネー知能検査Ⅵの標準化とその特徴」,モンゴル国立教育大学,9月
2. モンゴル国立教育大学・名古屋大学共催 田中ビネー知能検査検査者養成研修講座「招待講演・知能のアセスメント:日本における知能検査の系譜とその現代的展開」,モンゴル国立教育大学,9月

佐々木 美恵 教授

【論文等】

1. (他共著)論文「妊娠中からの育児支援プログラム参加者を拡大する試み」,『日本母子看護学会誌』16巻2号,日本母子看護学会,2月

【その他】

1. 東京都葛飾区地域療育セミナー講師,青戸地区センター,2月
2. さいたま市社会福祉協議会地域福祉情報・研修センター 民生委員・児童委員、主任児童委員研修講師,オンライン研修,7月
3. 福島市私立幼稚園協会研修会講師,オンライン研修,8月

羽鳥 健司 教授

【著書】

1. (部分単著)12章「カウンセリングと心理療法」,遠藤公久編『看護を学ぶ人のための心理学[第2版]』,弘文堂,9月

【学会、研究報告】

1. 寄稿(健康心理学の実践)「炎症性腸疾患への健康心理学的支援」,『ヘルスサイコロジスト』(日本健康心理学会広報誌)No.90,日本健康心理学会,3月
2. 「潰瘍性大腸炎患者が日常で知覚する困り事とその対処法に関する予備的検討―中間報告―」日本ヒューマン・ケア心理学会第24回学術集会 優秀発表賞受賞,オンライン開催,7月
3. 「クローン病患者が日常で知覚する困り事とその対処法(中間報告)」日本健康心理学会第36回大会,神奈川大学,12月

【その他】

1. IBDの診療課題を考えるWebセミナー講師 演題「IBD患者の日常生活を支える心理学的研究について―心理支援の基礎と研究経過報告―」,田辺三菱製薬株式会社埼玉支店,5月

藤枝 静暁 教授

【著書】

1. (他共著)『体と心 保健総合大百科〈中・高校編〉2023:2021年度保健ニュース・心の健康ニュース収録 縮刷活用版』,少年写真新聞社,4月

2. (単著)『不登校・登校しぶり—親子によりそうサポートBOOK—』, ナツメ社, 7月
3. (部分単著) Chapter17「友達トラブル 親ができるサポート術」, 日経WOMAN編『思考力・探究心・自己肯定感 AI時代を生き抜く力を育む 子育て30の極意』, 日経BP, 8月
4. (単著)『心理学でよくわかる友だち関係 あの子のきもち わたしのきもち』, 高橋書店, 9月

【論文等】

1. (単著) 査読付き論文「幼稚園におけるオンラインを用いた新たな子育て相談の実践研究」, 『カウンセリング研究』第56巻第2号, 12月

【学会、研究報告】

1. “Introduction of PBS Practice in Japan”, International Attendees and Prospective International Attendees of the 20th International Conference on Positive Behavior Support, Jacksonville, 3月
2. 藤枝静暁他, 「新たなキャリア教育の理解と実践 (2)」, 日本教育心理学会第65回総会自主シンポジウム, オンライン開催, 8月

【その他】

1. 記事「高学年 理不尽な人間関係が対応の引き出しを増やす」, 『日経xwoman- DUAL-』2023年2月号, 日本経済新聞社, 2月
2. 東京都公立中学校教育相談研修会, 東京都江東区中学校, 2月
3. 東京都小中連携講演会, 東京都足立区小・中学校, 2月
4. 埼玉県吉川市保育幼稚園研修会, 吉川市役所, 2月
5. 東京都公立幼稚園園内研修講師, 東京都公立幼稚園, 2月
6. 記事「新年度の不安を解消!小学生の人間関係」『AERA with Kids』2022年春号, 朝日新聞社, 3月
7. 藤枝静暁他, 東京都ソーシャルスキルトレーニング支援在り方検討会, 東京都庁, 3月
8. 記事「友人関係の悩みが対応力培う」, 『日本経済新聞』5月30日
9. 東京都公立幼稚園園内研修講師, 東京都公立幼稚園, 6月
10. 心の健康ニュース「心が疲れたら、無理をせずに休もう」, 少年写真新聞社, 7月
11. 記事「教育 子どもの人間関係」, 『聖教新聞』7月13日
12. 新聞書評「不登校・登校しぶり—親子によりそうサポートBOOK—」, 『日本経済新聞』7月8日
13. 静岡県浜松市小学校校内研修会, 静岡県浜松市小学校, 8月
14. さいたま市立小学校子育て支援講座, さいたま市立小学校, 10月
15. 東京都公立小学校道徳教育講座, 東京都公立小学校, 10月
16. 日本学校教育相談学会群馬支部研修会, 群馬県勤労福祉センター, 10月
17. 東京都公立幼稚園園内研修講師, 東京都公立幼稚園, 11月
18. 心の健康ニュース「ソーシャルスキル 怪しい誘いの断り方」, 少年写真新聞社, 11月
19. 藤枝静暁・山口誠, サントリー寺子屋講座「不登校・登校しぶりへの予防と対応」, サントリーホールディングス株式会社, 11月
20. 埼玉県学校保健会 埼玉県立高校健康講演会講師, 埼玉県立高校, 12月
21. 東海地区公立小学校教員研修生受入れ, 12月

遠藤 寛子 准教授

【学会、研究報告】

1. 遠藤寛子他, “Development and comparison of regular and reversed items measuring the need for intimacy in the workplace.”, Abstract book of the 2023 International Meeting of the Psychometric

Society, 123., Maryland, 7月

【その他】

1. 「ライフキャリアの構築を目指す女性のための心理学プログラム—生涯発達視点からのキャリア自律と他者支援への展開—」人間関係の心理学講師（文部科学省補助事業），筑波大学働く人への心理支援開発研究センター，9月

川久保 惇 准教授

【論文等】

1. （共著）Kawakubo, A. & Oguchi, T., 論文 “Looking back on your travel memories: Effects of memorable tourism experiences on well-being via daily recovery experiences”, *Tourism Analysis* Vol.28, pp.13-27, Cognizant Communication Corporation, 3月
2. （共著）Kawakubo, A. & Oguchi, T., 論文 “Salon nail care with superficial self-disclosure vitalizes psychological state”, *Frontiers in Psychology* vol.14, Frontiers Media, 9月

【学会、研究報告】

1. Kawakubo, A. et al., “Influence of crowding, popularity, and time-monetary costs on theme park experience and satisfaction”, 28th Asia Pacific Tourism Conference, Chiang Mai, 7月
2. 川久保惇・小口孝司, 「収入が増えるとネガティブ感情は低下する?」, 日本心理学会第87回大会, 神戸国際会議場・神戸国際展示場, 9月

【その他】

1. コラム（経世済民）「「記憶に残る」旅をつくる」, 『埼玉新聞』5月18日
2. 評論（シニアマイスター経営の知恵：179）「ポジティブ感情と観光」, 『観光経済新聞』7月21日
3. Kawakubo, A. et al., 受賞「Best Paper Award 28th Asia Pacific Tourism Association Annual Conference」, Chiang Mai, 7月
4. 「「蛙化現象」って何のこと？どう使う？意味が変わって流行語1位・・・Z世代や専門家に取材してみた」, 『東京新聞 Web版』8月14日
5. 「Z世代の流行語 蛙化現象何のこと？どう使う?」, 『東京新聞』9月17日
6. 「蛙化現象(かえるかげんしょう)とは?～本来と異なる意味が台頭」, 山梨中央銀行地域情報発信サイト『ふじのーと』9月28日
7. 埼玉学園大学公開講座「なぜ人は旅をするのか—withコロナ時代の観光に求められること—」, 埼玉学園大学, 10月
8. 「New study sheds light on the impact of manicures on women’s psychological well-being」, 『PsyPost』10月28日

泉水 紀彦 准教授

【論文等】

1. （共著）Terashima, H. & Sensui, T., “Computerized Cognitive Bias Modification for Interpretation (CBM-I) among Japanese university students with social anxiety”, *Current Psychology*, 5月

【その他】

1. 朝霞市不登校児童生徒支援員連絡協議会「子どもの問題行動の理解とその対応について」, 朝霞市産業文化センター, 3月
2. 朝霞市不登校児童生徒支援員連絡協議会「コミュニケーション・カウンセリングスキル研修」, 朝

霞市産業文化センター, 7月

3. 令和5年度 生徒指導・教育相談中級研修会「ロールプレイング・面接演習Ⅳ」, 越谷市教育センター, 8月

伊里 綾子 専任講師

【論文等】

1. Isato, A. et al., 論文“Overlapping Yet Dissociable Contributions of Superiority Illusion Features to Ponzo Illusion Strength and Metacognitive Performance”, SSRN, <https://doi.org/10.2139/ssrn.4427049> (プレプリント), Elsevier BV, 5月
2. Isato, A. et al., 論文“Development of Contextual-dependent Optimism Task: A Longitudinal Study of Influences of the Pandemic on Optimistic Predictions”, PsyArXiv, <https://doi.org/10.31234/osf.io/2dv96> (プレプリント), Center for Open Science, 6月

【その他】

1. 埼玉学園大学公開講座「コンパッション—思いやりの力で苦境を乗り越える—」, 埼玉学園大学, 10月

佐藤 洋輔 専任講師

【論文等】

1. (単著) 論文「LGB 青年のメンタルヘルスに関する現状と理論的アプローチ」, 『埼玉学園大学心理臨床研究』第9号, 埼玉学園大学臨床心理カウンセリングセンター, 3月
2. (他共著) 論文「LGBアイデンティティ尺度 (LGBIS) 日本語版の作成」, 『心理学研究』Vol.94, No.1, 日本心理学会, 4月
3. (他共著) 論文「日本語版状態希望尺度の作成および信頼性・妥当性の検討」, 『心理学研究』Vol.94, No.3, 日本心理学会, 8月

【学会、研究報告】

1. 「LGBTQ学生に対するキャンパス内でのスティグマが、当事者学生の学校適応に与える影響」, 日本カウンセリング学会第55回大会, オンライン開催, 8月

【その他】

1. 佐藤洋輔他, 「心理学における多様性尊重のガイドライン」, 日本心理学会, 3月
2. 沢宮容子・佐藤洋輔, 連載「動機づけ面接入門 (1) 動機づけ面接とは」, シンリンラボ, 4月
3. 沢宮容子・佐藤洋輔, 連載「動機づけ面接入門 (2) スピリットとプロセス」, シンリンラボ, 5月
4. 沢宮容子・佐藤洋輔, 連載「動機づけ面接入門 (3) チェンジトークと維持トーク」, シンリンラボ, 6月
5. 沢宮容子・佐藤洋輔, 連載「動機づけ面接入門 (4) OARS」, シンリンラボ, 7月
6. 茨城県栄養士会「生涯教育研修会」講師, 茨城県保健衛生会館, 7月

中谷 隆子 専任講師

【論文等】

1. (他共著) 論文「子育てにおけるセルフ・コンパッションの機能の検討—子どもに対する罪悪感を軽減し、子育てで満足感を高める関わり—」, 『東京成徳大学臨床心理学研究』第22号, 東京成徳大学, 3月

2. (他共著) 論文「困難状況におけるセルフ・コンパッションおよび勇気とオーナーシップとの関連」, 『東京成徳大学臨床心理学研究』第22号, 東京成徳大学, 3月

【学会、研究報告】

1. 中谷隆子他, 「パーソナリティ障害傾向と感情制御困難性、セルフ・コンパッション、思いやり反応との関連」, 日本心理臨床学会第42回大会, オンライン開催, 9月
2. 中谷隆子他, 「完全主義的自己呈示と社会的断絶のプロセサーコンパッションの恐れを含めた検討一」, 日本健康心理学会第36回大会, 神奈川大学, 12月

子ども発達学科

杉浦 浩美 教授

【著書】

1. (部分単著) 第6章「就労と妊娠・出産・育児—なぜ「両立」が問題となるのか」, 駒川智子・金井郁編『キャリアに活かす雇用関係論』, 世界思想社, 12月
2. (部分単著) 「マタニティ・ハラスメント／パタニティハラスメント」, 日本家族社会学会編『家族社会学事典』, 丸善出版, 12月

【論文等】

1. (単著) 小論「介護保険制度と家族～「家族当事者」として経験したこと」, 『生活経済政策』No.314, 生活経済政策研究所, 3月
2. (単著) 小論「ヤングケアラー～家族のケアを担う子ども・若者への支援」, 『生活経済政策』No.321, 生活経済政策研究所, 10月

【その他】

1. 港区男女共同参画センター講座講師「みんなが働きやすい「妊娠・出産」もある職場づくりへ」, オンライン, 4月
2. 自治労女性労働学校・講演「働く女性と母性保護」, 自治労会館, 10月
3. 日本女子大学現代女性キャリア研究所主催シンポジウム「女性が働く意味を問う」パネラーとして登壇, 日本女子大学, 11月

杉野 裕子 教授

【論文等】

1. (単著) 「プログラミングを活用した回転量と角概念の形成—第4学年角度単元内授業でのLOGO教材活用を通して—」, 『第56回秋期研究大会発表収録』, 日本数学教育学会, 11月

【その他】

1. コラム(経世済民)「小学校プログラミング必修化」, 『埼玉新聞』1月18日
2. 夢ナビ講義動画配信「算数好きのこどもに! プログラミングや教具の活用」, 株式会社フロムページウェブサイト, 4月

長友 大幸 教授

【論文等】

1. (共著) 長友大幸・松下洗希, 研究ノート「小学校校庭の固定遊具に対する児童の意識について」, 『埼

堀田 正央 教授

【その他】

1. 川口市多文化共生指針策定委員会(委員長), キュボ・ラ本館M4F川口市市民生活部協働推進課, 1月
2. コラム(経世済民)「多文化共生は誰のためか」, 『埼玉新聞』4月13日
3. 堀田正央・千崎美恵, ララガーデン川口ワークショップ「自由研究会」, ララガーデン川口, 8月
4. 第15回川口市外国人による日本語スピーチコンテスト(審査員), フレンディア, 11月

増南 太志 教授

【その他】

1. 特別支援研修会講師, 「学力に課題を抱える生徒への対応—ユニバーサルデザインの視点に基づく取り組み—」, 川口青陵高校, 6月

三浦 正雄 教授

【著書】

1. (単著)『開化期霊性文化史の諸相—霊性と怪談—』, 港の人, 12月

【論文等】

1. (共著)三浦正雄・生野金三, 論文「言葉による見方・考え方」を働かせる教材研究をめぐる」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第23号, 12月

森本 昭宏 教授

【学会、研究報告】

1. 森本昭宏他, 共催・グループ展「第9回記念ゲタ箱展」, 大田原市芸術文化研究所, 6月
2. 森本昭宏他, 共催・グループ展「Drowning Show II展」, ギャラリー榎B・C, 7月
3. 森本昭宏他, 共催・グループ展「GalleryHinokiArtFairXXV展」, ギャラリー榎C, 7月
4. 「森本昭宏彫刻個展」, ギャラリー榎F, 7月
5. 森本昭宏他, 共催・グループ展「GalleryHinoki HINOKI ANNUAL2022-2023展」, ギャラリー榎B・C, 12月

【その他】

1. 「第70回所沢市子ども写生大会 砂遊びワークショップ開催及び絵画作品審査会審査」, 東所沢公園・所沢市役所, 4~5月
2. 「埼玉県福祉部障害者アート魅力発信事業委員 オンライン美術館作家作品紹介文監修」, 8~10月
3. 第21回戸田市美術展覧会審査員 (&彫刻部賛助出品), 戸田市文化会館, 9月

山本 幸正 教授

【論文等】

1. (単著)研究ノート「埼玉県のわらべうたの特徴と分類緒論」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第23号, 12月

【学会、研究報告】

1. 山本幸正他, 研究演奏発表会出演(合唱) 混声合唱(アカベラ合唱)「Jubilate Deo」(Halmos), 「Ave

- Maria」(Orban), あんたがたどこさ(本間雅夫作曲), いもにんじん(古澤啓子作曲)], 全国音楽教育学会第38回全国大会(東京大会), ルーテル市ヶ谷ホール, 8月
2. 山本幸正他, 共同企画「音楽科の授業を再構築するコダーイ・アプローチの実践—音楽の知識・技能の学びの連続性と〔共通事項〕の構造化—」, 日本音楽教育学会第54回弘前大会, 弘前大学, 10月

吉野 剛弘 教授

【論文等】

1. (単著) 史料紹介「(史料紹介) 国立公文書館、福岡県庁所蔵の修猷学館設置関係書類」, 『中等教育史研究』第30号, 中等教育史研究会, 4月
2. (単著) 論文「専検・高検合格者と旧制高等学校入学試験(1)」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第23号, 12月

【学会、研究報告】

1. 「福岡県における予備校と高等学校との関係—修猷学館の教員配置を通して—」, 日本教育学会第82回大会, オンライン開催, 8月
2. 「旧制高等学校入試における検定合格者—専検・高検合格者の状況—」, 中等教育史研究会第73回大会, 早稲田大学, 10月

奥住 桂 准教授

【論文他】

1. (他共著) 論文「ライフデザイン演習におけるクラス横断交流活動の実践—2021年度「クラスシャッフル」授業の内容と振り返り—」, 『帝京大学高等教育開発センターフォーラム』Vol.10, 帝京大学高等教育開発センター, 2月

【学会、研究報告】

1. 「日本人英語学習者の英作文における名詞句使用—熟達度別の構造的特徴比較—」, 全国英語教育学会第48回香川研究大会, 香川大学, 8月

【その他】

1. 千葉県浦安市教育研究会 セミナー講師, 浦安市立日の出中学校, 1月
2. 奥住桂他, 埼玉大学教育実践フォーラム2023英語科ラウンドテーブル パネリスト, オンライン開催, 2月
3. 幸手市外国語指導力向上研修会 セミナー講師, ウェルス幸手, 2月
4. 連載コラム「英語教育そもそも談話室」, 『英語教育』2023年4月号~12月号, 大修館書店, 3~11月
5. 台東区教育研究会中学校英語部 セミナー講師, 台東区立浅草中学校, 7月
6. 子ども大学かわぐち 講師, 川口市立青木会館, 7月
7. 奥住桂他, 外国語教育メディア学会第62回全国研究大会 シンポジスト, 早稲田大学, 8月
8. 関東甲信越英語教育学会第47回埼玉研究大会 基調講演, オンライン開催, 8月
9. 台東区教育研究会中学校英語部授業研究会 指導・助言者, 台東区立桜橋中学校, 10月
10. 八潮市教育研究会英語部会授業研究会 指導・助言者, 八潮市立潮止中学校, 10月
11. 西多摩中学校教育研究会授業研究会 指導・助言者, 日の出町立平井中学校, 11月
12. 外国語教育メディア学会関西支部2023年度秋季研究大会 ワークショップ講師, 立命館大学, 11月

川喜田 昌代 准教授

【論文等】

1. (他共著)「OMEP子どもの権利条約(CRC)プロジェクト報告書」, OMEP日本委員会, 1月

【学会、研究報告】

1. 川喜田昌代他, 「保育者養成における子どもの権利条約に基づく保育実践への課題—「保育原理」「教育原理」の教科書内容の分析から—」, 第7回保育者養成教育学会, 文京学院大学, 3月
2. 川喜田昌代他, 「子どもの権利に関する条例のモニタリング—乳幼児期に着目して—」, 日本保育学会第76回大会, 熊本学院大学, 5月

【その他】

1. NPO法人NCN代表 未満児と母親の遊び場と子育て支援, 目黒区青少年センター, 7月
2. 国分寺市子ども子育て会議 会長, 国分寺市役所, 8~12月

東元 りか 准教授

【著書】

1. (部分単著)「第1部 弾き歌い編 わらべうた」, 有村さやか他編『保育のためのやさしい子どもの歌—弾き歌い・合奏・連弾・合唱—』, ミネルヴァ書房, 1月

【学会、研究報告】

1. 東元りか他, 研究演奏発表(混声合唱および女声合唱), 「Jubilate Deo (Halmos)」他計5曲, 全国音楽教育学会第38回全国大会(東京大会), ルーテル市ヶ谷ホール, 8月

【その他】

1. 東元りか他, 「耳を澄ませて、触れて、動いて 親子のためのミニコンサート」演奏, 西部子ども家庭支援センター, 10月
2. 東元りか他, 「クリスマスコンサート」演奏, 西部子ども家庭支援センター, 12月

藤野 好美 准教授

【著書】

1. (部分単著)第9章「生活困窮・貧困と福祉」, 松本峰雄他編著『社会福祉』, 建帛社, 12月

【その他】

1. 認知症の人と家族の会群馬県支部シンポジウム「コロナ禍を振り返り、これからの認知症ケアを語る」コーディネーター, 群馬県社会福祉総合センター, 9月

堀田 論 准教授

【著書】

1. (部分単著)第24章「現代の日本と世界(2)日本の経済の発展とグローバル化する世界」, 梅津正美・山内敏男編『板書&展開例でよくわかる 主体的・対話的で深い学びでつくる365日の全授業 中学校社会 歴史的分野』, 明治図書出版, 3月

【論文等】

1. (単著)論文「社会科カリキュラム開発における「意味のある会話」の意義と課題—NCSSスタンダードに基づくキーワード解釈を手がかりに—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第23号, 12月

【学会、研究報告】

1. 堀田論他, 「教科スタンダードの策定・活用過程」, 定例オンラインセミナー No.132 「教師の専門

- 職スタンダードはどうあるべきか—米国ワシントン州の事例検討を通して—, 広島大学 (ハイブリッド開催), 3月
2. 「新唯物論を手がかりとした人間中心主義社会科教育論の再考—全き市民を育成する社会科から驚きと魅惑の社会科へ—」, 日本社会科教育学会第73回全国研究大会, オンライン開催 (東京学芸大学・筑波大学共催), 10月
 3. 堀田諭他, 「課題研究Ⅲ 社会科教育の実証的・経験的研究は、いかに教師の成長に寄与し得るか」, 第72回全国社会科教育学会全国研究大会, 岡山大学, 11月
 4. 堀田諭・渡部竜也, 「「勉強が苦手な子」のシビック・エンパワメントのための真正の評価論—David Sherrinの歴史教育改革案を手がかりとして—」, 第72回全国社会科教育学会全国研究大会, 岡山大学, 11月

石橋 優美 専任講師

【学会、研究報告】

1. 石橋優美他, 会員企画シンポジウム「児童・生徒の「教科内容の本質的理解」を促す授業デザイン—(3) 協同を通して個人の概念的理解をいかに深めるか」, 日本教育心理学会第65回総会, オンライン開催, 8月
2. 石橋優美他, 「児童・生徒の物語文読解の深まりと幸せの認識の変化」, 日本教育心理学会第65回総会, オンライン開催, 8月

大島 真里子 専任講師

【学会、研究報告】

1. 「保育士は子どもの不快情動をどう捉えて外在的情動調整をするのか」, 日本発達心理学会第34回大会, 立命館大学, 3月

佐内 信之 専任講師

【著書】

1. (部分単著)「学校教育とファシリテーションの歩み—『学校教育に関するファシリテーション書籍一覧表』をもとに—」, ネットワーク編集委員会編『教室の中の多様性とファシリテーション』, 学事出版, 4月
2. (部分単著)「書籍で捉える『個別最適な学びと協働的な学び』の歴史—奈良女子大学附属小学校の大正から令和まで—」, ネットワーク編集委員会編『「個別最適な学びと協働的な学び」を考える』, 学事出版, 8月

【論文等】

1. (単著)論文「幼児期から児童期にかけての言葉遊び—アナグラム絵本の分析による考察—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第23号, 12月

【その他】

1. 学校運営連絡協議会評価委員, 東京都立高島特別支援学校, 4~12月
2. 佐内信之他, 第20回夏のチャレンジ! 全国小学生『未来』をつくるコンクール 作文部門審査員, オンライン開催 (ベネッセ教育総合研究所主催), 11月

千崎 美恵 専任講師

【論文等】

1. (単著) 論文「ことばの獲得過程を支える母子相互作用—2年間の乳幼児観察による考察—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第23号, 12月

【学会、研究報告】

1. 「ネガティブな被養育経験による育児困難感の変容プロセス—思春期の子どもを持つ母親への縦断インタビュー—」, 日本発達心理学会第34回大会, 立命館大学, 3月
2. 「乳幼児観察における子どもと親の関係性に関する一考察—面接に不在となる親を含めた家族関係のアセスメント—」, 日本心理臨床学会第42回大会, パシフィコ横浜, 9月

【その他】

1. 堀田正央・千崎美恵, ララガーデン川口ワークショップ「自由研究会」, ララガーデン川口, 8月

